

# 井草会報

2010  
No.43

発行 井草会  
練馬区上石神井 2-2-43  
東京都立井草高等学校内

## どの顔も、笑顔が満開! 2009同窓会

昨年の8月29日（土）に、新宿の京王プラザホテル・エミネンスホールにおいて、「2009同窓会」が開催されました。当日は、好天にも恵まれ、記念学年・恩師・来賓招待者の方々をはじめ、総勢380名を超える同窓生たちが参加し、大盛況となりました。特に、今回の記念学年として卒業30年を迎えた31回生・32回生は、卒業後初めて再会する方々も多く、合わせて170名ほどにもものぼる参加者となりました。また、傘寿（80歳）を祝ってご招待した高女1回生の方々も、元気な顔を見せてくださいました。



現役井草高校吹奏楽部による演奏で、会は華やかにスタートし、久しぶりの再会を喜び合う同窓生たちの語らいの輪が、会場のあちこちに広がりました。なごやかな歓談が続く宴もたけなわの頃、還暦を迎えた記念学年でプロミュージシャンの西濱哲男さん（20回生）によるミニコンサートになりました。ステージの近くに同期生たちが集まり、にぎやかに演奏を盛り上げてくれました。最後は、全員で校歌を大合唱し、あっという間の3時間でした。参加者のみなさんも、会が終わるのが名残惜しく、互いに記念撮影をしたり、握手を繰り返したりして、再会を固く誓い合っていました。どの顔も、笑顔が満開! 最高の一日となりました。

次回の「2011同窓会」へ向けて、今年度の同窓会委員会で話し合いが進められています。記念学年の参加数も回を重ねるごとに増え、横のつながりの輪は確実に広がってきています。次回からは、この記念学年のコーナーに加え、クラブ活動のOB・OG会のコーナーを新しく設け、縦のつながりの輪も広げていきたいと思えます。この機会に、クラブ活動のOB・OG会をと考えていらっしゃる方がありましたら、今年の12月末までに、ぜひ同窓会事務局へご連絡ください。「2011同窓会」も、前回同様に笑顔満開の楽しい集いにしたいと思っていますので、同窓生のみなさんの参加をお待ちしています。



2009同窓会実行委員長 榎木 荘太（29回I組）

### 目次

2009同窓会報告	1	キャンパスニュース	8
会長・校長挨拶	2	クラブ活動めぐり	9
恩師からの便り（齊藤瑞子先生・菊地広志先生）	3	幹事総会報告	10
OB・OGインタビュー（隆野豊子さん・石川敦子さん）	4・5	井草会掲示板	11
2009年度同期会・クラス会報告	6・7	同窓生いきいき広場	12



平成22年度幹事総会において、役員・理事改選により、平成8年から7期にわたり会長職を務めてくださった遠矢良隆会長が退任し、月岡健一新会長が就任しました。「井草会」は、これからも同窓会活動の更なる充実を図り、学校やPTAとの連携をより深めて、母校の発展に協力していきたいと思っています。



## 新会長挨拶

井草会会長  
月 岡 健 一  
(17回G組 昭40年卒)

この度、平成22年度の定時幹事総会で選任され、会長に就任いたしました。平成22・23年度の役員理事の担当も大幅に入れ替わり、微力ではありますが新たなメンバーとともに力をあわせて井草会の会務に取り組んでまいります。

今年は、井草会の活動にとって大変重要な年になります。まず、井草高校の創立70周年行事が来年に控えています。さらに、来年の2011同窓会はこれまでとは装いも新たな企画を持って開催する予定です。これらの行事を成功させるためにも、今年1年、しっかりと準備をすることが求められています。創立70周年行事に合わせて、もう一度井草の歴史を振り返ってみることも大事だと思います。同窓会員は、同じ学舎で学んだ人々の先輩後輩という縦の繋がりと同期の横の繋がりがあり、それぞれの会員相互の「絆づくり」が井草会の役割です。また、今年度から、高校支援として、従来の国際交流プログラムの支援に加え、クラブ活動等の支援もすることになりました。3年間の高校生活を過ごした母校に対する恩返しも、また、会員の役割でしょう。

これらの同窓会活動を安定的に進めていくためには、井草会の組織がきちんと機能し、そして、財政的基盤がきちんと確保されることが求められます。今、井草会の財政基盤は大変厳しい状況にありますが、今年度はこれらの体制を整備しながら、井草会の目的である、会員相互の教養を高め、親睦を厚くし併せて母校の発展に協力することをめざして、井草会の運営を進めてまいります。井草会のさらなる発展と、会員の皆様の役に立つ同窓会をめざして、努力してまいりますので、これまで以上に、会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



## 「井草会」の 発展を祈念して

都立井草高等学校長  
赤 羽 克 己

同窓会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝いたしております。遠矢良隆前同窓会長様には、学校運営連絡協議会協議委員として、本校の学校運営全般にわたり貴重なご意見を頂戴し学校改善に活かしているところであります。また、役員の皆様には、進路部主催の井草夢プロジェクト「キャリアアップ講座」の講師派遣等におきまして大変お世話になっております。さまざまな分野でご活躍されている卒業生の皆様からの後輩への熱いメッセージは、生徒・保護者から大変好評で、生徒一人一人の夢を育み大きな励みになっているものと確信しております。また、文化祭や体育祭、国際理解教育等での心温まるご支援に対しまして、重ねてお礼申し上げます。

同窓会の皆様からの本校への熱い想いと期待に応えられるように、教育内容のいっそうの充実を目指し、21世紀のわが国と世界の平和と発展に貢献できる若者が輩出することを念じて日々の教育に取り組んでいきたいと思っております。

校歌の一節に「あゝ井草 われら ここに世界の前に」とあります。私たちの日常には混迷深める現実社会がありますが、「未来からの留学生」である生徒一人一人の叡智と心を磨き鍛え、人間力を高める教育の推進に今後も努めて行きます。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

本校は、昭和16年開学、来年で創立70周年を迎えます。節目の慶事にあたり、貴会のみならずの発展と会員の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。



# 恩師からの便り



## 良き井草時代

齊藤 瑞子 先生  
(昭21~32年 数学担当)

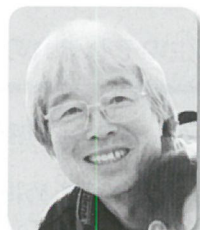
私は今年85歳。新卒で初めて赴任したのが井草高校です。学生時代が戦中で、動員先が文部省の統計数理研究所でしたので、先生方が、われわれに少しでも数学の勉強をさせたいと、研究所の仕事をこなしながら、空いた時間には東大の先生方の数学の講義を受けさせてくださいました。

そんなわけで、少しは数学の勉強をしましたが、教職としてやったことはありませんでした。教生として付属の高校で少し実習をやりましたが、ほんの一週間程度でした。まあ、こんな新米教師だったのです。さすがに赴任後数年間は担任もなく、いろいろと勉強させてもらいました。

そんな頃の井草は、運動場は土ぼこりがあがって向こうが見えなくなるほどでした。体育館もなかったけれど、バスケット部の顧問やドイツ語部の顧問などをやりました。今考えると少し恥ずかしいのですが、素直で一生懸命に取り組む生徒さんたちとの日々は本当に楽しく、良い井草時代をすごせました。卒業させたクラスの方たちも、いまだにたびたびクラス会を開いてくれて、うれしいかぎりです。

今の私は有難いことに、まだ足腰もなんともないので、週3回9時から11時まで卓球を楽しんでいます。これは体のためだけでなく、一人暮らしの生活なので、孤独死なども防げるのではないかと頑張っています。

先日は新しく買ったカメラをさげて、息子たちと一緒に、新潟から会津まで走っている蒸気機関車「ばんえつ号」の写真を撮りに出かけました。周りの鉄道マニアの熱中ぶりが面白く、私も思わず夢中でシャッターをきっていました。まあ、そんな調子で、今のところ元気で頑張っています。



## 素晴らしい学園井草

菊池 広志 先生  
(昭53~63年 国語担当)

昭和53年から63年まで御世話になり国語を担当しておりました。田舎での高校生活を送った私にとっては都立高校、特に井草高校は経験したことのない新鮮で魅力的な雰囲気の高校でした。

思い出として印象強く残っていることは沢山ありますが、やはり学校行事を通しての思い出が多いです。

梅雨が明け夏休みに入るとすぐに行われた戸田での臨海教室。春休みに入るとみんなでバスで出掛けた志賀高原でのスキー教室。また昼休みのチャイムの音にも気付かずに中庭で夢中になってやっていたバレーボールやバドミントン。どれもこれも忘れられない大切な宝物です。

何よりも、9月になって1週間通して行われた井草祭は格別でした。疲れた心と体をさらに奮い起こしてファイアーの周りでみんなで踊ったフォークダンス。そして最後に放心状態になりみんなで見上げた夜空に広がる花火。「遊びと恋愛の井草」という評判もあったみたいですが、私にとっては「勉強」にも「スポーツ」にも全力を出して取り組んでいるという印象のすばらしい学園でした。

還暦を迎え、この3月定年退職いたしました。週末にやってくる孫たち（双子の男の子）と遊ぶのを楽しみにのんびりと過ごしております。何もわからずにただ動き回り、やさしい先輩の先生方とやさしい生徒たちに励まされながらの井草には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも井草高校がすばらしい都立高校であることを祈っております。





# OB・OG インタビュー

今回は時代を経て変化してきた井草生のそれぞれの思いを高校1回生と33回生のお二人にお話を伺いました。



隆野豊子さん 高校1回 (昭和24年卒)

井草高校同窓会発展のために、長い間ご尽力いただいている隆野さんに、都立井草高等女学校に入学してからの67年間を振り返ってお話いただきました。

1943年 都立井草高等女学校入学  
1949年 都立井草高等学校卒業  
1949年 (旧)日本興業銀行入行  
1952年 (旧)日本興業銀行退職・結婚

## Q.入学された頃の学校の様子はどうでしたか?

昭和18年の入学で、仮校舎の鷲宮から移転したばかりの新築校舎でした。高校の辺りは畑地で屋敷林の大櫨、竹林に囲まれた藁葺き農家があちこちにあり、のどかな風景でした。校庭から夕焼けの富士山も眺められました。上級生はよく下級生の世話をしてくださり、私たちの模範でした。物資の不足はありましたが、先生方は意欲的で、私達には楽しい前向きの学校生活でした。

昭和20年早々から私たちの学年も工場動員が始まっていましたが、学校の配慮で限度まで学窓においてくださり、実際の就労は終戦までの3ヶ月余りでした。高女4回生なので昭和23年3月で卒業になりますが、私は新制高校の3年生として編入して翌24年3月に高校1回卒業生(25名)となりました。

## Q.卒業後はどのようなお仕事をなさっていたのですか?

日本興業銀行に就職しました。明日が試験という日になってから青山先生に推薦状を書いていただき、受験者の最後だったのを覚えています。戦後の就職先の花形は、銀行でした。3年勤めないと退職金が出ない時代でしたので、3年勤め、結婚退職して専業主婦になり、2人の娘に恵まれました。

## Q.同窓会の役員として「井草会」にかかわったきっかけは?

創立20周年記念事業として昭和35年に竣工した同窓会館は1学年10学級となる必要から木造校舎改築・増築となり、その西側にあった同窓会館は取り払われてしまいました。その折の経緯の記録もなく非常に残念に思いました。同窓会活動の消えそうな灯を細々と守る幾人かの委員からSOSがかかり参加しました。

## Q.その頃の「井草会」はどのような活動をしていたのですか?

卒業生からの入会金を資金に名簿発行作業から始まりました。学校の創立50周年記念事業として、記念誌の作成に協力し、マツヤサロンでの同窓会を企画・開催しました。同窓会がなくなったと思っていた方々から、歓びの声が上がって嬉しさをかみしめました。

## Q.これまでの「井草会」の歩みを振り返ってみて、どんなことを感じますか?

招待学年スタイルの同窓会の企画や国際交流プログラム支援、校歌 CD 制作等にかかわることができてよかったです。

誰でも学校を卒業すれば、大学や就職、結婚、子育てと社会の荒波を航海して、帰ってくる港がほしいのです。それが私には井草なのです。

23年間事務局に関わる中で、先生方や同窓生の方々から、優しさ誠実さを頂きました。それを受ける嬉しさと感謝から、温かみの分かる人間になることが出来たようです。それが私の宝です。

## Q.これからの同窓会活動への思いや期待などを聞かせて下さい。

都立高校の統廃合計画等、将来の不安はありますが、先陣を歩む私たちは後から続々と続いている後輩たちのためにも、よい形で「井草会」を遺し、長く続けてもらいたいと願っています。

## Q.長年続けていらっしゃる趣味はありますか?

新制高校になった頃は音楽部にいました。男女別校の過渡期で、石神井・井草混声合唱団が結成され、コーラスの虜になりました。職場でもコーラス部に入りましたが、そのご縁から OB 仲間の女声合唱団が生まれ、今年は40周年の記念演奏会を迎えます。

いつまでも、くちびるに歌をの暮らしを楽しんでいきたいと思っています。

文責 中村啓子 (18回 E組)





石川敦子さん（ペンネーム **高倉あつこ**） 33回G組（昭和56年卒）

テレビドラマにもなった「山おんな壁おんな」の作者である漫画家の高倉あつこさんは、来年高考卒業30年になります。仕事場「高倉企画」を訪ねてお話を伺いました。

1981年 都立井草高等学校卒業

1984年 「いよっ勝盛くん」（リボンオリジナル春の号・集英社）で漫画家としてデビュー  
第10回S・B賞次席（努力賞）

1987年 第17回ちばてつや賞佳作入賞「どこが小心だ」（ヤングマガジン・講談社）

### Q.井草時代は、どんな高校生でしたか？

部活を3つも兼部していました。最初にバスケットボール部に入りましたが腰を痛めてやめました。そうしたら肉付きがよくなってしまい、やはり運動部に入らなければと思いましたが、元の部に戻るのもどうかと考え、ハンドボール部に入りました。漫研にも籍を置き、同期に現在漫画家として活躍している、けらえいこさんやおのえりこさんもいました。生物部では白衣を着てネズミをポケットに入れて廊下を歩いたりして楽しかったし、高校は好きでした。卒業する時には「井草で良かった！」と思いました。

### Q.漫画家という職業を選ばれたきっかけは？

小学生の頃から漠然と漫画家になりたいと思って漫画を描いていました。中学生になると会報を出してクラスメートに渡していました。高校在学中には漫研の同期4人で投稿したりしていました。その中の小野さんは在学中にデビューが決まりました。高校を卒業して浪人中に投稿した漫画が最終選考に残ったことがきっかけで、漫画家になる決心をしました。大学には行きたくないと言ったが、中学の教師をしていた父に「浪人したままフラフラされているのは困る。どこかに入っていたきたい」と言われ、東京デザイン専門学校の彫金アクセサリー科に1年だけ行きました。その在学中に「いよっ勝盛くん」でデビューが決まりましたが、その後4年間くらいは1年に1回くらいの仕事しかなくて、実家で暮らしていました。

26歳の時に「ハゲしいな!桜井くん」の連載が決まり、やっと自活できるようになりました。

### Q.締め切りを抱えての創作活動はストレスがたまると思いますが、その解消法は？

自分ではストレスは感じていません。愛犬と朝晩散歩すると気分転換できます。今2か月の子犬を入れて3匹の柴犬がいます。あとはお酒ですかね(笑)。

### Q.今までの作品の中で、特に気に入っている作品は？

「ハゲしいな!桜井くん」「中村橋動物病院の犬」「泌尿器科医一本木守!」「山おんな壁おんな」でしょうか。「中村橋」は元々犬だったのに人間に生ま

れ変わった話。「一本木守」は桜井君の亡霊の呪縛から完全に解放された作品。「山おんな壁おんな」は女性が主人公で初めて長い連載になった作品なので。でも、いつ描いた作品にも思い入れはありますね。わが身から出たわが子に差はないということでしょうか。強いてあげれば、一番初めの連載作品「ハゲしいな!桜井くん」。4年半位描いていたので、私が描いていながら、私の手を離れて作品の中で勝手に動いてくれるという感じでした。「桜井くん」が最初は高校生だったので井草の校舎を勝手に描いていました。



### Q.仕事に対する姿勢、大切にされていることは？

大きな話は苦手なので、日常茶飯事の事を話に嘘が無いように、読後感が悪い話は描かないようにと思っています。医療の話などは、深刻な話も深刻にならないように、読んで良かったと思われるように心がけています。

### Q.これからどんな作品を描いてみたいと思っていますか？

いっぱいあるのですが、愛犬がお世話になっている獣医の先生に「ペットを飼うという事は命を預かるということですよ」と言われた事から、動物を飼うというのはどういうことかを犬の話として描きたいです。それと、旅館の話を描いていますが、料理好きの私としては、料理の場面をあまり出せなくてちょっと残念なところもあるので、料理の話。それから、次は泌尿器科ではない科の医療の話もやりたいですね。



連載中

### Q.井草の後輩たちへのメッセージを。

何年先までやれるか分からないと思いながらやってきました。やり続けることは大変ですが、続けていられる自分があって今があります。諦めずに続けることが大事。人のせいにして、何も動かずにいるのではなく、自分から行動してほしいです。

文責 永島寿江（18回J組）



# 2009年度同期会・クラス会報告

## クラス会



**4回A組** 2009年6月3日 新宿 美先  
今回初めて出席の方々を歓迎でお迎えし旧交をあたためました。



**4回E組** 2009年5月13日 江之島亭  
当日は天候に恵まれ、皆さんうきうき気分であいざ江の島へ。相模湾の海の幸に舌鼓をうちながら話に興じました。



**5回D組** 2009年11月12日 有楽町 大雅  
吉川先生が亡くなられたので、お写真を飾り、お花やお菓子を供えて偲びました。でも最後はカラオケ会場に席を移して、また一年頑張ろう！と。



**5回E組** 2009年11月14日 Live Café Hyde  
大隅芳秋先生の卒寿(90歳)をお祝いしてのクラス会。級友の大槻秀元さんのコンサートを始め、音楽にあふれた会となりました。



**10回E組** 2009年5月20日 東京ファミリークラブ  
富田林より久しぶりにご参加くださった松谷さんご夫婦を交えて、楽しい思い出のひとつを過ごしました。



**11回C組** 2009年4月18日 新宿 伊勢丹  
卒業50周年のクラス会を開催しました。



**14回F組** 2009年7月18日 中野サンブラザ  
3年ぶりのクラス会になりました。今回卒業以来初めてという男性が1名出席して下さり、大変盛り上がりました。



**15回A組** 2009年4月11日 渋谷 エクセルホテル東急  
今年度は皆65歳になる節目の年でもあることから、久しぶりに「毛利先生を囲む会」と称してクラス会を開きました。



**15回G組** 2009年4月11日 勇の里 季  
卒業以来初めての参加者や住所が分かり久しぶりの参加者等があり、大変盛り上がったクラス会になりました。



**26回1年F組** 2009年7月18日 新宿中村屋  
卒業時のクラス会が多い中で、1年時のクラス会に29名の出席がありました。



**26回D組** 2009年5月16日 新宿野村ビル 響  
長崎から奈良から長野からと、何と総勢30名。35年ぶりの人もいてワイワイ、ガヤガヤ、昔話に花を咲かせあつという間の楽しい2時間半でした。



**31回1年C組** 2010年2月20日 三鷹 PISTE  
1年の井草祭のときに作成・上映した自作映画・少年探偵団の8mmマスターテープが残っていたため、それをDVDに変換して再上映するというサプライズ企画など、あつという間の楽しいひとときでした。





**32回H組** 2009年8月29日  
ライオン新宿センタービル店  
記念学年同窓会が開かれるのをきっかけには是非集まろうという声が高まり、京都、愛知、福島、静岡からもかけつけ、大人数のクラス会が実現しました。



**33回B組** 2009年11月14日 八重洲 蓬莱  
山本先生にもご出席頂き、2年ぶりということでしたが、皆、最初から打ち解け合い互いに近況報告や高校時代の懐かしい話で盛り上がりました。



**41回C組**  
2009年5月30日 練馬区役所20階展望レストラン  
前回のクラス会から11年ぶり、2次会、3次会、4次会…と、朝まで飲み明かした猛者もいたとか…!

## 同期会



**高女1回同期会** 2009年4月22日 新宿 東天紅  
80歳を祝って「傘寿の会」を開きました。郡山、京都、神戸の遠方をはじめ、東京近郊から33名の出席者があり、賑やかで楽しい会を催すことができました。



**9回同期会** 2009年8月29日 銀座 ライオン都議会議事堂店  
大隅先生、大沢先生の米寿のお祝いも兼ねて開催しました。



**19回同期会** 2009年8月29日 新宿 Y'sエスタック情報ビル店  
総勢137名の参加者で、会場は参加者でごった返し、名札を見ながら名前と顔を思い出し、昔話に花を咲かせるグループや、2~3人でしみじみ語り合うグループなど、立食パーティは大盛況でした。



**26回同期会** 2009年8月29日 新宿 Y'sエスタック情報ビル店  
広川先生、住岡先生にご参加頂き、盛大な同期会となりました。

## 井草会援助金制度のご案内

同期会、クラス会、OB・OG会等の会合に対しての援助金制度を設けていますので、どうぞご利用下さい。この制度は会員の年会費によって賄われています。年会費の納入によりしくご協力下さい。

### 制度の概要

1. 利用人数基準: 同期会30名以上、OB・OG会恩師を囲む会、クラス会15名以上 (65歳以上のクラス会10名以上)
2. 利用回数: 1年に1回限り
3. 援助額: 千円/人とし、援助額はクラス会3万円、その他5万円を上限として常任理事会で内容検討のうえ決定します。
4. 申込方法: 葉書・FAX・井草会ホームページで目的、人数、予定日、幹事名を明記し、開催日前日までに申請してください。

【事後申請は不可】申請書、年会費納入書等を幹事宛に送付いたします。

5. 援助金申請手続き: 行事終了後①援助金申請書②参加者名簿(氏名、住所、電話番号、メールアドレス等)③参加者全員の写真④報告書を提出してください。

### 問合せ・申込み先:

1. 事業委員会 (援助金担当者) 島田俊明 〒177-0044 練馬区上石神井2-1-15-307 TEL/FAX 03-5934-0440
2. インターネット委員会 メールアドレス igusa@igusakai.org



# キャンパスニュース

## 副校長新任挨拶 東 信幸



本年4月に井草高等学校に着任いたしました。よろしくお願ひ申し上げます。グローバルな競争という中で、個人に要求される資質も以前とは異なるものが前面に出て来つつあるようです。このような状況下で、高等学校は生徒に真の実力をつける必要がある一方で、ストレス等に対する耐性の低い人への配慮など、温かい雰囲気を保つことも求められています。このような対応にも組織の力が向くようにして行きたいと思っています。今後とも本校の教育の充実・発展のため、引き続きご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

## 吹奏学部50周年記念交歓演奏会

2010年2月7日(日)、母校体育館で吹奏楽部創部50周年を記念して交歓演奏会を開催し、その後、場所を移して親睦会を開きました。交歓演奏会には、歴代の顧問、現役生及び1期から50期までの卒業生、合計130名以上が集まりました。

井草では一つの部だけで、創部から現在までの部員が一堂に会することは稀なことのようです。現役生の演奏に引き続き行われた卒業生合同の演奏では、世代の差を乗り越えて合奏する楽しさを堪能しました。吹奏楽の楽しさ、部活の思い出、母校の思い出等が重なり、盛大な演奏会になりました。

親睦会でも、その熱気はそのまま、初対面の人達ばかりですが、世代の差なんてどこへやら、終始和気あいあい

と楽しい語らいが繰り広げられました。卒業生の間では、このような楽しい演奏会を、またやりたいねという話が、あちこちで持ち上がっていました。みんなの熱い思いが実現することを、心から願っています。

田崎 徹 (18回1組)



## 2010年進路状況・合格状況 (既卒者、推薦入学を含む合格者数)

### 国公立大学 (7名)

埼玉大1 首都大学東京1 電気通信大2 東京学芸大1 琉球大2

### 私立大学 (362名)

日本大34 東洋大24 法政大20 東京電機大13 芝浦工業大10 成蹊大10 武蔵大9 目白大9 中央大8 明治大8 学習院大7 十文字学園女子大7 大正大7 立教大7 青山学院大6 大妻女子大6 国士館大6 大東文化大6 東京国際大6 明星大6 立正大6 駒澤大5 帝京大5 東京都市大5 工学院大4 上智大4 専修大4 拓殖大4 東海大4 東京工科大4 東京農業大4 獨協

- 大4 亜細亜大3 跡見学園女子大3 神奈川大3 城西大3 帝京
- 平成大3 東京家政学院大3 東京理科大3 日本獣医生命科学大3
- 武蔵野大3 桜美林大2 関東学院大2 北里大2 慶應大2 國學
- 院大2 女子栄養大2 女子美術大2 白梅学園大2 千葉商科大2
- 東京医療保健大2 明治学院大2 早稲田大2 共立女子大1 国
- 立音楽大1 実践女子大1 昭和女子大1 昭和薬科大1 多摩美
- 術大1 東京情報大1 同志社大1 日本女子大1 文化女子大1
- 麻布大1 日本体育大1 順天堂大1 など

● 短期大学 (12名) 専門学校 (20名) 就職 (1名)

## 先生の異動

転 出				転 入			
氏 名	教科科目	氏 名	教科科目	氏 名	教科科目	氏 名	教科科目
神永 庄一	副 校 長	岡本 謙一	英 語	東 信幸	副 校 長	佐藤 勉	芸 術
佐藤 康代	国 語	穂坂 聡子	英 語	荻野 恵	国 語	阿部 真琴	芸 術
三谷 愛子	国 語	竜田 昭子	養 護	右田 恭之	国 語	石川 一郎	英 語
青野 弘一	社 会	鈴木 史子	実 教	山崎 裕康	社 会	杉山 朱美	英 語
大野 智久	理 科	中村 崇	学 司	川口 清隆	理 科	福井 敬子	養 護
川崎 洋子	理 科	鈴木 博	経営企画室	只木 薫	理 科	秋元 武史	実 教
抱山 公彦	保健体育	鈴木 恭子	経営企画室	井口 守	保健体育	伊井 淳子	学 司
瀬戸 宏	芸 術						

(敬称略)



# クラブ活動めぐり

今回は、伝統あるクラブ活動から陸上部を取り上げました。また、3年前に新しく設置された科目「奉仕」に、井草がどのように取り組んでいるかをご紹介します。

## 陸上部

陸上部の部員数は23名（男子15名・女子8名）で指導者（コーチ）が3名の少数精鋭のクラブです。練習場所は校庭・トレーニングルーム・学校の外周や大泉中央公園・武蔵野陸上競技場など時期や内容に応じて様々な場所で活動しています。競技種目は様々で100m、200m、400m、800m、1,500m、3,000m、5,000m、幅跳び、高跳びに出場しています。また時には駅伝、3,000m障害、5,000m競歩、やり投げ、砲丸投げ等にも出場します。実績としては、支部予選入賞の都大会出場は常に普通のことになっており、目標は関東大会にどれだけ出場できるかです。私が赴任した平成16年以降で関東大会には5回の7種目出場しました。その出場した選手は、亜細亜大学で箱根駅伝に出場した三船将司君、立教大学で日本選手権・関東カレッジに出場した天野佑介君、そして関東大会3連続出場の五嶋彩子さん（3年生）です。この様な実績になると強い部活でレベルが高く練習がとてもしんどいのではと思われがちですが、部活の雰囲気は、走ること（陸上）が好きで真面目に自己ベスト更新に挑戦する生徒の集まりです。実績のよし悪しに関係なく、生徒は互いに協力し合い助け合って、それぞれの自己ベスト更新を目指しています。生徒は陸上部の活動で自己挑戦を繰り返しながら、人生への自己実現へと成長していています。

今後も同窓会の皆さんへ、よい報告ができるよう陸上部は日々努力を続けて参ります。

陸上部顧問 鶴澤 裕



## 井草高校奉仕活動

平成19年度より、すべての都立高校に、東京都独自の科目「奉仕」が設置されました。この科目は教室での授業だけではなく、学校を離れて地域での体験活動を18時間以上行うことになっており、どの都立高校でも活動のあり方について苦心をしています。

そんな中、本校では、生徒の素直で明るい気質、地域を大切にする心、お年寄りや小さい子どもに対する思いやりなどに支えられ、大変有意義な活動を行ってきました。

例えば、練馬区の大きなお祭り「照姫まつり」には、毎年100名近い生徒が参加して、パレードの補助やパンフレット配布、お祭りの運営のお手伝いなどを行っています。下石神井商店街の「しもしゃく祭り」ではダンスや歌の披露をしたり、模擬店のお手伝いをしています。また、障害のある方との交流も大切なテーマとしており、杉並区にある「すだちの里」の皆さんをお招きしてクリスマスコンサートを行ったり、「知的障害者水泳教室」でインストラクターの補助をしたり、「先天性四肢障害児父母の会」のスポーツ大会をお手伝いするなど、さまざまな活動を行っています。

こうした活動を通して、近頃の高校生が忘れがちになっている、他者を思いやり、尊重する気持ちが育まれ、世代を超えた方々との交流が積み重ねられています。多くの方々から、「井草の生徒に来てもらって本当に良かった」と言っていたり、「奉仕」は今、本校の新しい特色になっています。

第二学年主幹教諭 杉野文栄





## 幹事総会報告

6月27日(日)、平成22年度定時幹事総会が母校視聴覚室で開催されました。当日は41名(委任状309通)の出席により、総会が成立しました。

最初に、遠矢会長より、同窓会活動の更なる充実と、学校やPTAとしっかり連携を取り、母校支援活動を継続して行ってほしいとのあいさつがありました。続いて来賓としてご出席いただいた赤羽校長先生と高橋PTA会長、新任の東副校長先生より、母校支援への協力を引き続きお願いしたいとのお話がありました。

平成21年度事業報告、決算報告に続き、平成22・23年度役員・理事改選で承認された月岡新会長より、前会長から託された思いをしっかりと引き継いでいきたいとのあいさつがありました。その後、22年度の事業計画・予算案などについての案件が審議され、いずれも原案通り可決されました。

### 新役員紹介(平成22・23年度役員)

会長	月岡健一	17G	新井雅晴	13D(兼)
顧問	遠矢良隆	6A	西田実	17B(兼)
会計	◎岡安敏子	4F	瀬尾行弘	8B(兼)
	◎村上俊雄	25E	中井淑子	7C(兼)
監事	久米浩一	26D	◎谷中	7D
	大西久江	5E	西利一郎	8D
事務局	◎中井淑子	7C	渡辺正義	9C
	塩野淳子	7E	林一雄	10C
	本田英俊	16B	丸山隆	13D
	藤尾智子	25I	岡部隆行	13E
	鎌形香代子	27F	青木寛	13E
	大西久	5E(兼)	新井健一	16B
	安田忠	21G(兼)	島田俊明	20A
	原田美幸	24D(兼)	安田忠	21G(兼)
	新井雅晴	13D(兼)	原田美幸	24D
広報	◎瀬尾行弘	8B(クラブ兼)	三島隆	50D
	◇原京	14G	丸山隆	13D(兼)
	中村福代	14G(行事)	熊谷和	15F
	隆野豊	1	陶山洋子	21I
	本山和夫	20B	井手房子	27G
	佐々木瑞枝	13B	◎樗木莊太	29I
	八巻孝夫	18A	◇中村啓子	18E(兼)
	中井淑子	7C(兼)	◇安田忠	21G
	岡安敏子	4F(兼)	◇採田邦子	29F
	原田美幸	24D(兼)	大久保みつ江	18F
インターネット	◎西田実	17B	永島寿江	18J(兼)
	岩崎静枝	30H	田中信雄	29B
	覚田純子	21G	川村英之	31D
	高橋保子	17B	赤穂陽一	31F
	高橋理子	30C	豊嶋敬一	31G
	植木謙	21D(兼)	丸山隆	13D(兼)
	中井淑子	7C(兼)	岡部隆行	13E(兼)
名簿・会費	◎新井雅晴	13D	江田恵	62A
	佐藤治	高女1	斎藤藍児	62A
	渡辺旭	2B	酒井原桜	62B
	金沢美保子	3B	立崎優里麻	62B
	平岩允里子	6C	小林久祥	62C
	藤尾智子	25I(兼)	牧野剛士	62C
	塩野淳子	7E(兼)	松前早和乃	62D
	西田実	17B(兼)	山野愛実	62D
会報	◎植木謙	21D	山井寛	62E
	◇中村啓子	18E	朝生瞳	62E
	中村公	3E	安藤光	62F
	永島寿江	18J	堀井祐樹	62F
	鎌形香代子	27F(兼)		

◎副会長・委員長 ◇補佐

(注)◎◇印と監事は常任理事会出席メンバー

## 平成21年度決算・22年度予算

収 入

(単位:円)

項目	H21年度予算	H21年度決算	H22年度予算
繰越金	2,494,844	2,494,844	2,012,853
入会金	903,160	903,160	815,160
会費および寄付	3,500,000	3,924,180	3,500,000
雑収入	10,000	20,513	10,000
計	6,908,004	7,342,697	6,338,013

支 出

項目	H21年度予算	H21年度決算	H22年度予算
会報委員会費	3,000,000	2,555,366	2,900,000
会報通信費	1,250,000	1,144,590	1,250,000
会報発送代行費	350,000	370,566	400,000
会報等印刷費	1,300,000	964,844	1,150,000
委員会活動費	100,000	75,366	100,000
名簿・会費委員会費	200,000	96,490	200,000
事業委員会費	1,050,000	935,932	1,400,000
井草祭参加費	100,000	105,300	150,000
OB・OG会・同期会クラス会援助費	800,000	704,900	800,000
委員会活動費	100,000	125,732	100,000
クラブ推進分科会活動費	50,000	0	50,000
井草高校活動費助成金	-	-	300,000
同窓会委員会費	750,000	564,485	200,000
広報委員会費	350,000	299,253	350,000
インターネット委員会費	100,000	82,476	100,000
事務担当費	120,000	52,132	120,000
予算及び決算担当費	30,000	8,000	30,000
理事会・委員会・幹事会費	550,000	235,710	500,000
会議費	50,000	310	50,000
交通費	150,000	105,000	150,000
通信費	250,000	94,650	200,000
事務所設備等	50,000	0	50,000
活動費	50,000	35,750	50,000
井草会事務所開設準備金	500,000	500,000	500,000
予備費	258,004	0	38,013
次年度繰越	-	2,012,853	-
計	6,908,004	7,342,697	6,338,013

### 財産目録(平成22年3月31日現在)

単位:円

名簿積立金	700,000
井草会事務所開設準備金	15,000,000







### 1 井草祭へのお誘い (事業委員会)

開催日：9月11日(土)・12日(日)

現役生たちによる盛り沢山の展示品や、活気あるイベントに触れ、懐かしい井草のキャンパス時代を思い出してみませんか。この機会には是非母校へお出かけください。井草会では、同窓生の憩いの場所として「同窓会の部屋」を設け、抹茶とお菓子を用意して、皆様のお越しをお待ちしています。

### 2 21年度一般寄付金寄付者名簿 平成22年3月31日現在 (名簿・会費委員会)

下記の方々から貴重なご寄付を頂きました。有効に使わせて頂きます。ありがとうございました。

(敬称略、 単位:千円)

高女1	宇部 満寿子 3	高校6	早船 聖生 10	高校10	黒田 俊宏 1	高校16	清水 美佐子 8	高校23	原島 幸子 3
	武田 綾子 20		中島 厚子 3		菅沼 登志子 3	高校17	山田 泰子 8		山田 博子 3
	宇田川 和子 3		沢田 祐二 8	高校12	尾崎 政雄 3		矢口 静世 3	高校25	河野 秀之 3
	末永 京子 10	高校7	中島 幸子 3		細野 恭代 3	高校18	郡司 明郎 3	高校26	杉野 俊哉 1
	匿名 10		渡辺 きさ子 3		内藤 千与孝 1		千葉 優子 3		岩倉 昭博 3
	津澤 輝子 3	高校8	瀬尾 行弘 8		中林 保彦 3		今井 久美子 9		別所 嘉彦 3
高女3	辻 タケ子 3		中上 喜久男 8		細谷 春來 1	高校19	駒屋 伸雄 5	高校28	森田 真一 3
高女4	阿部 妙子 10	高校9	9回生有志 3.2		八百 洋子 1		武藤 ひろみ 3	高校30	畑田 明子 1
	福原 ひさ子 10		山口 直子 3	高校13	清水 健司 1		猪股 正幸 2		大場 肇 3
	平林 美智子 3		渡辺 正義 8		富岡 和子 8		村田 勉 3	高校31	豊嶋 敬一 3
高校1	匿名 10		木村 忠正 8	高校14	岸本 清見 3	高校20	野崎 暁 3		阿部 恵 1
高校2	蛭川 映子 3		渡辺 節子 3		松本 洋子 3		渡辺 信行 10	高校33	岡田 哲郎 1
	渡辺 旭 3		野口 享子 3		林 健一 3		秋山 道郎 8	高校34	高野 郁人 1
高校3	清水 麗 5	高校10	10回生有志 2		小島 慶子 3		大島 道雄 8	高校38	佐々木 育子 3
	相沢 智子 3		関口 素子 1	高校15	杉本 秀幸 8		村田 直樹 8	高校41	匿名 3
高校4	木下 正子 300		南部 正光 8		星野 義行 3		石田 清江 8		吉浦 和孝 3
	高橋 一子 3		D組有志 4		小杉 弘江 1		田中英明 3	高校49	米川 輝 3
	高島 礼子 3		柴山 義朗 8		川添 洋子 3	高校21	川上 隆司 8	高校51	葛城 英彦 3
	中村 京子 3		津江 慎弥 1		小泉 彰 3		町田 康男 3	高校54	豊永 貴弘 5
	E組有志 5		横田 晴美 8		小野 節子 3	高校22	平田 英二 1		寄付者数99名、730,200円

### 3 創立70周年記念協賛金のお願い

母校は、2011年(平成23年)に創立70周年となります。これを記念して、母校は各種記念事業を行いますが、同窓会としても協力していきたいと思っています。

つきましては、会員の皆様のご賛同とご寄付をよろしくお願いいたします。(ご寄付の際は、会報に同封されている会費の振込用紙をご利用願います。)

#### 13回生(昭和36年卒)同期会のお知らせ

開催日：平成22年11月14日(日) 14時～17時  
 会場：アルカディア市谷(私学会館)  
 会費：7,000円 皆様、奮ってご参加ください!

#### 恩師の訃報

天野 敏雄 (昭27～44年在職 保体)  
 小沢 省三 (昭44～59年在職 理科)  
 山根(小堀)美智子 (昭21～38年在職 保体)  
 古屋(小林)尚子 (昭19～55年在職 理科)

#### 編集後記

今回の会報は記事内容の充実化を図り、同窓会非開催の年ですが12ページ建てとし、カラーページも2ページ増やし4ページといたしました。

7月暑さ真盛りの中、週1回のペースで校正会議にご参加くださいました委員の皆様ご苦労様でした。また、無事に会報発行ができましたことは、記事をご提供くださいました皆様のご協力によるものと深く感謝申し上げます。



## 同窓生 いきいき広場

同窓生の方々が、いきいきと活躍されている様子をお知らせしたいと思  
い、新しくこのコーナーをスタートしました。今回は、3人の方々にご登  
場いただき、講演会・展覧会の報告やお知らせをご紹介します。

★甘楽 美登利 さん (昭32卒・9回D組)

### 「人との出会いは 自分の幸せ」 セカンドライフへの挑戦

甘楽さんは、「井草会報」No.36 OB・OGインタ  
ビューに登場いただきました。

今回は平成22年5月15日、第17回ねりまシニアセ  
ミナーで70名近くの参加者を前に「人との出会いは  
自分の幸せ」というテーマで講演をされました。

主婦から補習塾の経営、実家に引っ越して7年  
におよぶ実父の介護、50歳を過ぎてからの写真学校へ  
の入学、花専門の写真家になるまでの遠い道のり、  
パリ、ニューヨーク、ロスアンジェルス、の海外を含  
め、100回を超える写真展開催と驚くべき行動力を発  
揮されました。

持ち前の好奇心の強さ、すばらしい各界の方々  
の人脈の広さなどはセミナーの参加者に感動を  
与え、「50歳を過ぎていても、60歳でも何かを始める  
のに遅すぎることはない。」の言葉に勇気付けられ  
ました。

途切れのない質疑応答は参加者が感銘を受けた  
ことを強く感じさせました。



★浅賀 捷代 さん (昭33卒・10回B組)

### 第12回伝統手工芸 巧技ソサエティー美術展開催

東京芸術劇場において、6月27日～7月1日まで  
巧技ソサエティー美術展が開催されました。この美  
術展には、数多くの材料に手間暇掛け、心を込めた  
作品が毎年出品されています。糸から刺繍・編物・  
織物、土から陶芸、木から能面や彫刻、布で押絵や  
パッチワーク、革で絵画、紙ではり絵、水引工芸、  
銀線七宝、彫金等々、作品の分野は数えあげたら限  
りないほど沢山ありました。

浅賀さんは、和紙はり絵作家として活躍されてい  
ますが、いろいろの分野の伝統手工芸作家の方々と  
協力して、巧技ソサエティー（会長 浅賀捷代）を  
立ち上げられ、去年は10周年を記念して「巧みの技

極みの煌き」という本  
を出版されています。

美術展には、今年も  
沢山の力作が集まりま  
した。この手作り・物  
作りはきっと後世に  
伝承されることでは  
う。



★手塚 雄二 さん (昭46卒・23回B組)

### 個展と春の院展のおしらせ

#### 1. 個展

東京藝術大学(絵画科日本画)教授の手塚さんは  
日本美術院大観賞をはじめ、前田青邨賞、文部大  
臣賞、内閣総理大臣賞などを受賞されています。

今回は「手塚雄二 一瞬と永遠のはざままで」とい  
うテーマで次の通り開催されます。

この機会に是非ご覧ください。

そごう美術館 2010年10月23日～11月28日  
(横浜店6階)

松坂屋美術館 2011年 1月 2日～ 1月23日  
(名古屋店南館7階)

#### 2. 第65回春の院展

日本美術院の巨匠と  
新鋭の画家の作品が展  
示され、手塚さんは  
「千の滝」を出品され  
ています。

春の院展スケジュー  
ルは4月17日から始ま  
り今後の予定は次の通  
りです。



一畑百貨店松江店 8月26日～8月31日

三越松山店 9月 3日～9月10日

三越新潟店 9月14日～9月20日

今後も、このコーナーで、同窓生の方々が活躍  
されている様子をお知らせしていきたいと思っ  
ています。奮って情報をお寄せください。  
連絡先は、「井草会掲示板」(11ページ)の最後  
に記載してありますので、よろしく願いいた  
します。